

電通大杯

ヒト型レスキューロボットコンテスト 2014

概要

- 日時：2014年11月2日（日）13:00～17:00
- 場所：大阪電気通信大学 駅前キャンパス5階506号室
- 主催：ヒト型レスキューロボットコンテスト実行委員会
- 共催：一般社団法人日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門、大阪電気通信大学 自由工房、レスキューロボットコンテスト実行委員会
- 協賛：株式会社アーテック、株式会社アールティ、ヴイストンロボットショップ、クラフトハウス株式会社、近藤科学株式会社、有限会社杉浦機械設計事務所、株式会社プロアシスト、Robotma.com
- Mail: humanoid-rescon@googlegroups.com
- Web: <http://goo.gl/jp18Sq>



スケジュール

- 13:00～15:00 ファーストミッション (13 競技)
- 15:00～15:30 休憩・調整
- 15:30～16:30 ファイナルミッション (6 競技)
- ミニ講演 (神戸大学 横小路 泰義 先生)
- 16:30～17:00 表彰

ヒト型レスキューロボットコンテストとは

ヒト型レスキューロボットコンテストは、ヒト型ロボットによる災害救助をテーマにしたロボットコンテストです。今回の競技では、ヒト型ロボットを遠隔操作して、約4m×2mのフィールド内で「トンネルくぐり」「段差乗り越え」「ガレキ除去」「要救助者搬送」の四つのタスクを順にクリアし、かかった時間の短さを競います。また、各タスクに対する審査員による評価も重視されます。

「レスキューロボットコンテスト」は、2000年から毎年開催されており、ロボット競技を通じて、ものづくりの楽しさを伝えるとともに、防災や減災の大切さや難しさを考える機会を提供しています。本コンテストも、この考えを継承し、さらに多くの皆さんに輪を広げるために開催します。

レスキューホイッスル(受付で販売、1個200円)

本家レスコン実行委員会が、チャリティーグッズとして製作。売り上げは全て日本赤十字に東日本大震災の義援金として寄付します。



競技者・ロボット (ファーストミッション競技順)

	氏名	所属団体名	ロボット名
1	久保田 和希	産業技術短期大学	ゲッターン1
2	村山 玲次	大阪電気通信大学 視覚メディア研究室	アクアレイザーRX
3	ミネガミ	産業技術短期大学	ROBOT
4	川中 裕士	大阪電気通信大学 自由工房	大電通ウグイス-改
5	高嶋 大樹	大阪産業大学	Antlion
6	九州工業大学PBL	九州工業大学	KIT-ロボ
7	RYOU	産業技術短期大学	メタルギアレスキュー
8	大野 拓美	大阪電気通信大学 自由工房	トランザー
9	こんどう	産業技術短期大学	ROBOT
10	能勢 賢人	大阪電気通信大学 自由工房	大電通コマドリ-改
11	カルピン	大阪産業大学	カイエン
12	河端 一紘	大阪電気通信大学 自由工房	HRC-proto
13	zeno		RB2000SF
14	かっちゃん	大阪産業大学	武御雷
15	井口 雄登	神戸科学技術高等学校	ピクシーSS

棄権

棄権

競技時間とポイント

競技時間：6分間

ただし、ファイナルミッションで

搭載カメラ遠隔操縦の場合に限り 9分間

評価ポイント（600点満点）

=残り時間ポイント（300点満点）

+審査員ポイント（300点満点）

残り時間ポイント（通常）=360-所要時間（秒）

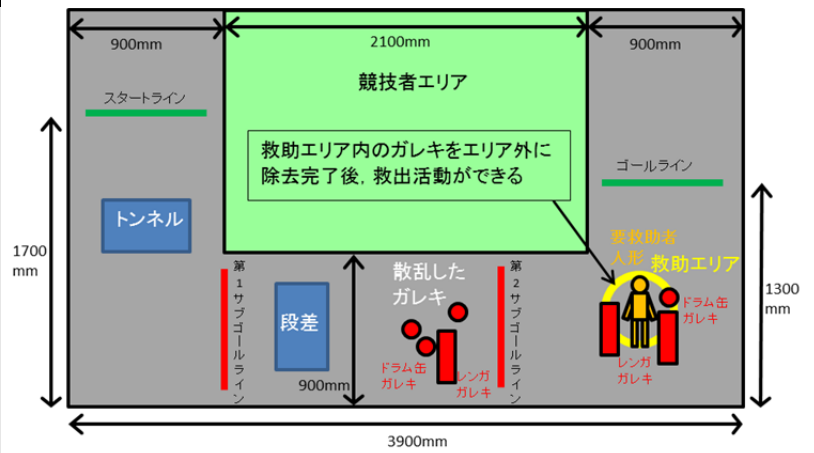
残り時間ポイント（ファイナルで搭載カメラ遠隔操縦）

=540-所要時間（秒）

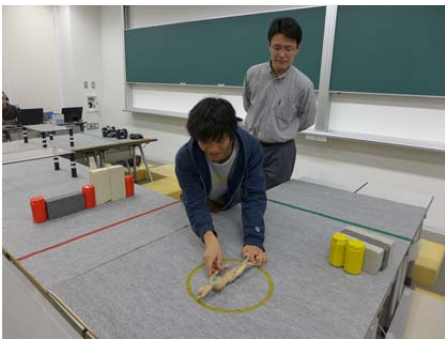
審査員ポイント

=3人の審査員のポイント（100点満点）の合計

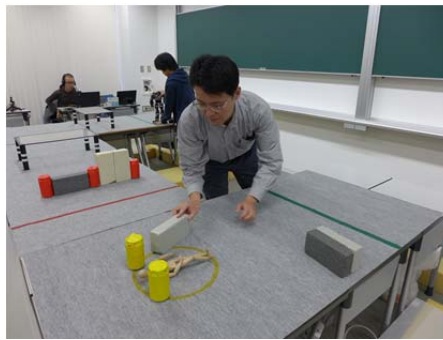
競技フィールド



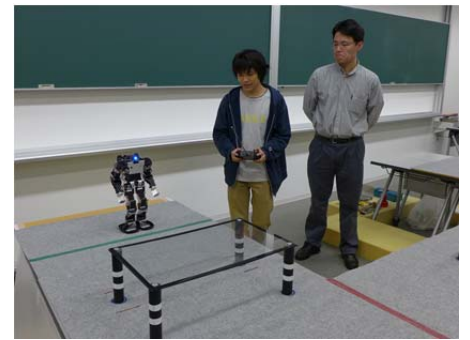
競技の流れ



(1) 競技者が要救助者人形を配置



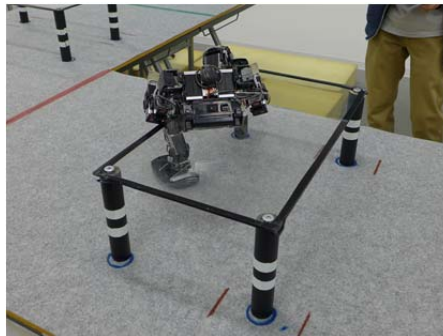
(2) 審判がガレキを配置



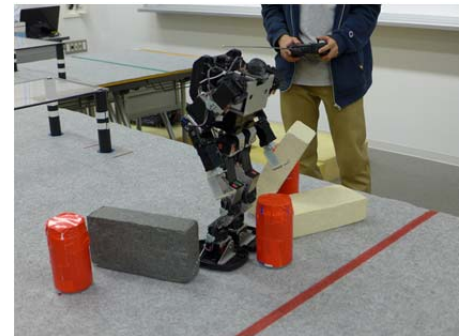
(3) スタートエリアから出動



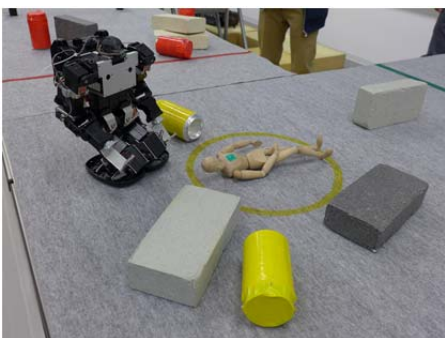
(4) トンネルくぐり



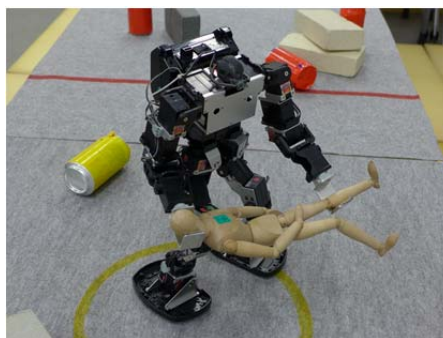
(5) 段差乗り越え



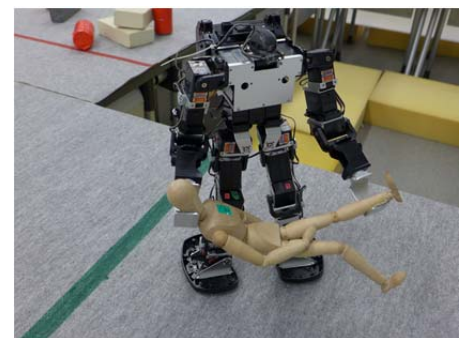
(6) 路上ガレキを押し分け



(7) 救助エリアのガレキを除去



(8) 要救助者人形を搬送



(9) 人形の全身がゴールラインを越えるとレスキュー活動完了